

化学農薬の天敵に対する影響情報一覧表(ピレスロイド系殺虫剤)

化学農薬の天敵類に対する影響について既存の文献を調査して得られた情報を、一覧表にまとめました。

影響の内容については文献に記載されたものをそのまま収録しました。

(注意:天敵に対する影響は、気象条件など環境により変動します。ここに記載された情報についてはひとつの目安としてご利用下さい。)

農薬種類名 (成分一般名)	代表的な商品名	農薬用途	農薬系統分類	天敵グループ名称	天敵名	影響内容	備考	出典(標題)	出典(著者)	出典(年)
アクリナトリン	アーデント	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	アオムシサムライコマユバチ	少ない		農薬ハンドブック2005	(社)日本植物防疫協会	2005
アクリナトリン	アーデント	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性天敵	タイリクヒメハナカメムシ	あり		農薬ハンドブック2005	(社)日本植物防疫協会	2005
アクリナトリン	アーデント	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	ククメリスカブリダニ	卵は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は21日以上		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
アクリナトリン	アーデント	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	チリカブリダニ	あり		農薬ハンドブック2005	(社)日本植物防疫協会	2005
アクリナトリン	アーデント	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	その他	エルビニアカロトボロ	菌は	エルビニアカロトボロは乳剤との混用はできないが、3日以上の散布期間であれば近接散布が可能。	天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
アクリナトリン	アーデント	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	その他	バチルスズブチリス	芽胞は	バチルスズブチリスは混用できない剤とでも、翌日以降の近接散布は可能。	天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
エトフェプロックス	トレボン	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	天敵類	天敵全般	散布直後の葉面残留量が10%以下となるのに要する日数(H19、20試験) 14日(レタス)、7日(なす)	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
エトフェプロックス	トレボン	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	イサエアヒメコバチ	散布後の露地作物(野菜に限る)において、葉面残留量が室内試験の半数致死薬量以下となるまでの日数(H19、20試験) 成虫	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
エトフェプロックス	トレボン	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	イサエアヒメコバチ	幼虫は、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は21日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009

影響内容の記号の見方 【出典が「バイオリジカルコントロール協議会」のもの】

天敵等に対する影響は(野外・半野外試験) :死亡率0~25%、 :25~50%、 :50~75%、×:75~100%、(室内試験) :死亡率0~30%、 :30~80%、 :80~99%、×:99~100%

化学農薬の天敵に対する影響情報一覧表(ピレスロイド系殺虫剤)

化学農薬の天敵類に対する影響について既存の文献を調査して得られた情報を、一覧表にまとめました。
 影響の内容については文献に記載されたものをそのまま収録しました。
 (注意:天敵に対する影響は、気象条件など環境により変動します。ここに記載された情報についてはひとつの目安としてご利用下さい。)

農薬種類名 (成分一般名)	代表的な商品名	農薬用途	農薬系統分類	天敵グループ名称	天敵名	影響内容	備考	出典(標題)	出典(著者)	出典(年)
エトフェンブロックス	トレボン	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	オンシツツヤコバチ	成虫は×、影響のなくなるまでの期間は35日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
エトフェンブロックス	トレボン	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	キイロタマゴコバチ	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H19、20試験)成虫:14日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度!PM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
エトフェンブロックス	トレボン	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	コレマンアブラバチ	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H19、20試験)成虫:7日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度!PM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
エトフェンブロックス	トレボン	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	ハモグリコマユバチ	幼虫は、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は21日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
エトフェンブロックス	トレボン	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性天敵	アリガタシマアザミウマ	幼虫は×、成虫は		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
エトフェンブロックス	トレボン	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性天敵	タイリクヒメハナカメシ	散布後の露地作物(野菜に限る)において、葉面残留量が室内試験の半数致死薬量以下となるまでの日数(H19、20試験)幼虫	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度!PM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
エトフェンブロックス	トレボン	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性天敵	タイリクヒメハナカメシ	幼虫は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は14日以上		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
エトフェンブロックス	トレボン	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性天敵	ナミテントウ	散布後の露地作物(野菜に限る)において、葉面残留量が室内試験の半数致死薬量以下となるまでの日数(H19、20試験)幼虫	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度!PM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
エトフェンブロックス	トレボン	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	チリカブリダニ	成虫は		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009

影響内容の記号の見方【出典が「バイオロジカルコントロール協議会」のもの】

天敵等に対する影響は(野外・半野外試験) :死亡率0~25%、 :25~50%、 :50~75%、×:75~100%、(室内試験) :死亡率0~30%、 :30~80%、 :80~99%、×:99~100%

化学農薬の天敵に対する影響情報一覧表(ピレスロイド系殺虫剤)

化学農薬の天敵類に対する影響について既存の文献を調査して得られた情報を、一覧表にまとめました。
 影響の内容については文献に記載されたものをそのまま収録しました。
 (注意:天敵に対する影響は、気象条件など環境により変動します。ここに記載された情報についてはひとつの目安としてご利用下さい。)

農薬種類名 (成分一般名)	代表的な商品名	農薬用途	農薬系統分類	天敵グループ名称	天敵名	影響内容	備考	出典(標題)	出典(著者)	出典(年)
エトフェンブロックス	トレボン	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	ミヤコカブリダニ	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H19、20試験)若虫:14日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
エトフェンブロックス	トレボン	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	クモ類	コモリグモ類	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H19、20試験)幼体:4日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
エトフェンブロックス	サニーフィールド	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	その他	ネマトーダ類	幼虫は、影響のなくなるまでの期間は0日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
エトフェンブロックス	トレボン	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	その他	バチルスズブチリス	芽胞は	バチルスズブチリスは混用できない剤とでも、翌日以降の近接散布は可能。	天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
シクロプロトリン	シクロサール	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性天敵	ナミテントウ	200ppmで影響なし		農業ハンドブック2005	(社)日本植物防疫協会	2005
シクロプロトリン	シクロサール	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	クモ類	クモ類	散布1日後は密度低下が認められるが、散布8日後には回復		農業ハンドブック2005	(社)日本植物防疫協会	2005
シハロトリン	サイハロン	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	天敵類	天敵全般	散布直後の葉面残留量が10%以下となるのに要する日数(H19試験)35日以上(りんご)	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
シハロトリン	サイハロン	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性天敵	タイリクヒメハナカメムシ	室内試験からの影響指数(天敵半数致死濃度/使用濃度)(H19試験):0.5未満(幼虫)	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
シハロトリン	サイハロン	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性天敵	ナミテントウ	室内試験からの影響指数(天敵半数致死濃度/使用濃度)(H19試験):0.5未満(幼虫)	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009

影響内容の記号の見方【出典が「バイオリジカルコントロール協議会」のもの】

天敵等に対する影響は(野外・半野外試験) :死亡率0~25%、 :25~50%、 :50~75%、 ×:75~100%、(室内試験) :死亡率0~30%、 :30~80%、 :80~99%、 ×:99~100%

化学農薬の天敵に対する影響情報一覧表(ピレスロイド系殺虫剤)

化学農薬の天敵類に対する影響について既存の文献を調査して得られた情報を、一覧表にまとめました。

影響の内容については文献に記載されたものをそのまま収録しました。

(注意:天敵に対する影響は、気象条件など環境により変動します。ここに記載された情報についてはひとつの目安としてご利用下さい。)

農薬種類名 (成分一般名)	代表的な商品名	農薬用途	農薬系統分類	天敵グループ名称	天敵名	影響内容	備考	出典(標題)	出典(著者)	出典(年)
シハロトリン	サイハロン	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	ミヤコカブリダニ	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H19試験) 幼虫:35日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
シハロトリン	サイハロン	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	その他	エルビニアカクトボエラ	菌は水和剤は、乳剤は×	エルビニアカクトボエラは乳剤との混用はできないが、3日以上散布期間であれば近接散布が可能。	天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
シハロトリン	サイハロン	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	その他	パチルスズブチリス	芽胞は	パチルスズブチリスは混用できない剤とでも、翌日以降の近接散布は可能。	天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
シフルトリン	バイスロイド	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	天敵類	天敵全般	あり		農業ハンドブック2005	(社)日本植物防疫協会	2005
シフルトリン	バイスロイド	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	天敵類	天敵全般	散布直後の葉面残留量が10%以下となるのに要する日数(H19試験) 21日(だいず)、7日(レタス)	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
シフルトリン	バイスロイド	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	イサエアヒメコバチ	幼虫は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
シフルトリン	バイスロイド	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	イサエアヒメコバチ	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H19試験) 成虫:7日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
シフルトリン	バイスロイド	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	オンシツツヤコバチ	蛹は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
シフルトリン	バイスロイド	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	コレマンアブラバチ	マミーは×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009

影響内容の記号の見方 [出典が「バイオロジカルコントロール協議会」のもの]

天敵等に対する影響は(野外・半野外試験) :死亡率0~25%、 :25~50%、 :50~75%、 ×:75~100%、(室内試験) :死亡率0~30%、 :30~80%、 :80~99%、 ×:99~100%

化学農薬の天敵に対する影響情報一覧表(ピレスロイド系殺虫剤)

化学農薬の天敵類に対する影響について既存の文献を調査して得られた情報を、一覧表にまとめました。

影響の内容については文献に記載されたものをそのまま収録しました。

(注意:天敵に対する影響は、気象条件など環境により変動します。ここに記載された情報についてはひとつの目安としてご利用下さい。)

農薬種類名 (成分一般名)	代表的な商品名	農薬用途	農薬系統分類	天敵グループ名称	天敵名	影響内容	備考	出典(標題)	出典(著者)	出典(年)
シフルトリン	バイスロイド	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	コレマンアブラバチ	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H19試験)成虫:7日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
シフルトリン	バイスロイド	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	サバクツヤコバチ	蛹は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
シフルトリン	バイスロイド	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	ハモグリコムバチ	幼虫は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
シフルトリン	バイスロイド	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	ヨトウバチ類	蛹は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
シフルトリン	バイスロイド	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性天敵	クサカゲロウ類	幼虫は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
シフルトリン	バイスロイド	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性天敵	シヨクガタマバエ	幼虫は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
シフルトリン	バイスロイド	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性天敵	タイリクヒメハナカムシ	幼虫は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
シフルトリン	バイスロイド	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性天敵	タイリクヒメハナカムシ	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H19試験)幼虫:14日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
シフルトリン	バイスロイド	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性天敵	ナミテントウ	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H19試験)幼虫:21日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
シフルトリン	バイスロイド	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	ククメリスカブリダニ	卵は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009

影響内容の記号の見方 【出典が「バイオリジカルコントロール協議会」のもの】

天敵等に対する影響は(野外・半野外試験) :死亡率0~25%、 :25~50%、 :50~75%、×:75~100%、(室内試験) :死亡率0~30%、 :30~80%、 :80~99%、×:99~100%

化学農薬の天敵に対する影響情報一覧表(ピレスロイド系殺虫剤)

化学農薬の天敵類に対する影響について既存の文献を調査して得られた情報を、一覧表にまとめました。

影響の内容については文献に記載されたものをそのまま収録しました。

(注意:天敵に対する影響は、気象条件など環境により変動します。ここに記載された情報についてはひとつの目安としてご利用下さい。)

農薬種類名 (成分一般名)	代表的な商品名	農薬用途	農薬系統分類	天敵グループ名称	天敵名	影響内容	備考	出典(標題)	出典(著者)	出典(年)
シフルトリン	バイスロイド	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	チリカブリダニ	卵は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
シフルトリン	バイスロイド	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	デジェネランスカブリダニ	卵は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
シフルトリン	バイスロイド	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	クモ類	コモリグモ類	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H19試験) 幼体:4日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
シベルメトリン	アグロスリン	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	天敵類	天敵全般	散布直後の葉面残留量が10%以下となるのに要する日数(H19試験) 21日(だいず)	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
シベルメトリン	アグロスリン	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	イサエアヒメコバチ	散布後の露地作物(野菜に限る)において、葉面残留量が室内試験の半数致死薬量以下となるまでの日数(H19試験) 成虫:21	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
シベルメトリン	アグロスリン	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	イサエアヒメコバチ	成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
シベルメトリン	アグロスリン	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	オンシツヤコバチ	蛹は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
シベルメトリン	アグロスリン	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	コレマンアブラバチ	マミーは×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
シベルメトリン	アグロスリン	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	コレマンアブラバチ	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H19試験) 成虫:14日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009

影響内容の記号の見方 【出典が「バイオリジカルコントロール協議会」のもの】

天敵等に対する影響は(野外・半野外試験) :死亡率0~25%、 :25~50%、 :50~75%、 ×:75~100%、(室内試験) :死亡率0~30%、 :30~80%、 :80~99%、 ×:99~100%

化学農薬の天敵に対する影響情報一覧表(ピレスロイド系殺虫剤)

化学農薬の天敵類に対する影響について既存の文献を調査して得られた情報を、一覧表にまとめました。
 影響の内容については文献に記載されたものをそのまま収録しました。
 (注意:天敵に対する影響は、気象条件など環境により変動します。ここに記載された情報についてはひとつの目安としてご利用下さい。)

農薬種類名 (成分一般名)	代表的な商品名	農薬用途	農薬系統分類	天敵グループ名称	天敵名	影響内容	備考	出典(標題)	出典(著者)	出典(年)
シベルメトリン	アグロスリン	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	サバクツヤコバチ	蛹は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
シベルメトリン	アグロスリン	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	ハモグリコマユバチ	成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
シベルメトリン	アグロスリン	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	ヨトウバチ類	蛹は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
シベルメトリン	アグロスリン	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性天敵	クサカゲロウ類	幼虫は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
シベルメトリン	アグロスリン	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性天敵	ショクガタマバエ	幼虫は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
シベルメトリン	アグロスリン	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性天敵	タイリクヒメハナカメムシ	幼虫は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
シベルメトリン	アグロスリン	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性天敵	タイリクヒメハナカメムシ	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H19試験) 幼虫:14日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
シベルメトリン	アグロスリン	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性天敵	ナミテントウ	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H19試験) 幼虫:28日以上	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
シベルメトリン	アグロスリン	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	ククメリスカブリダニ	卵は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
シベルメトリン	アグロスリン	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	チリカブリダニ	卵は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
シベルメトリン	アグロスリン	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	デジェネランスカブリダニ	卵は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009

影響内容の記号の見方 【出典が「バイオリジカルコントロール協議会」のもの】

天敵等に対する影響は(野外・半野外試験) : 死亡率0~25%、 : 25~50%、 : 50~75%、 × : 75~100%、(室内試験) : 死亡率0~30%、 : 30~80%、 : 80~99%、 × : 99~100%

化学農薬の天敵に対する影響情報一覧表(ピレスロイド系殺虫剤)

化学農薬の天敵類に対する影響について既存の文献を調査して得られた情報を、一覧表にまとめました。

影響の内容については文献に記載されたものをそのまま収録しました。

(注意:天敵に対する影響は、気象条件など環境により変動します。ここに記載された情報についてはひとつの目安としてご利用下さい。)

農薬種類名 (成分一般名)	代表的な商品名	農薬用途	農薬系統分類	天敵グループ名称	天敵名	影響内容	備考	出典(標題)	出典(著者)	出典(年)
シベルメトリン	アグロスリン	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	ミヤコカブリダニ	室内試験からの影響指数(天敵半数致死濃度/使用濃度)(H19試験):0.5未満(若虫)	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
シベルメトリン	アグロスリン	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	クモ類	コモリゴモ類	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H19試験) 幼体:4日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
シベルメトリン	アグロスリン	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	その他	エルビニアアカロトボラ	菌は	エルビニアアカロトボラは乳剤との混用はできないが、3日以上散布期間であれば近接散布が可能。	天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
シベルメトリン	アグロスリン	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	その他	シュードモナスフルオレッセンス	菌は×		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
シベルメトリン	アグロスリン	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	その他	ネマトーダ類	幼虫は、影響のなくなるまでの期間は0日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
シベルメトリン	アグロスリン	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	その他	パーティシリウムレカニ	胞子は		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
シベルメトリン	アグロスリン	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	その他	バチルスズブチリス	芽胞は	バチルスズブチリスは混用できない剤とでも、翌日以降の近接散布は可能。	天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
シラフルオフェン	MR. ジョーカー	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	アオムシサムライコマユバチ	あり		農業ハンドブック2005	(社)日本植物防疫協会	2005
シラフルオフェン	MR. ジョーカー	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性天敵	タイリクヒメハナカメムシ	あり		農業ハンドブック2005	(社)日本植物防疫協会	2005

影響内容の記号の見方【出典が「バイオロジカルコントロール協議会」のもの】

天敵等に対する影響は(野外・半野外試験) :死亡率0~25%、 :25~50%、 :50~75%、 ×:75~100%、(室内試験) :死亡率0~30%、 :30~80%、 :80~99%、 ×:99~100%

化学農薬の天敵に対する影響情報一覧表(ピレスロイド系殺虫剤)

化学農薬の天敵類に対する影響について既存の文献を調査して得られた情報を、一覧表にまとめました。

影響の内容については文献に記載されたものをそのまま収録しました。

(注意:天敵に対する影響は、気象条件など環境により変動します。ここに記載された情報についてはひとつの目安としてご利用下さい。)

農薬種類名 (成分一般名)	代表的な商品名	農薬用途	農薬系統分類	天敵グループ名称	天敵名	影響内容	備考	出典(標題)	出典(著者)	出典(年)
シラフルオフェン	Mr. ジョーカー	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性天敵	タイリクヒメハナカムシ	幼虫は×		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
シラフルオフェン	MR. ジョーカー	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	ケナガカブリダニ	なし		農業ハンドブック2005	(社)日本植物防疫協会	2005
シラフルオフェン	MR. ジョーカー	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	クモ類	キクヅキコモリグモ	なし		農業ハンドブック2005	(社)日本植物防疫協会	2005
シラフルオフェン	シラトップ	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	その他	ネマトーダ類	幼虫は、影響のなくなるまでの期間は0日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
トラロメトリン	スカウト	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	天敵類	天敵全般	散布直後の葉面残留量が10%以下となるのに要する日数(H19試験)35日以上(りんご)	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
トラロメトリン	スカウト	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性天敵	タイリクヒメハナカムシ	室内試験からの影響指数(天敵半数致死濃度/使用濃度)(H19試験):0.5未満(幼虫)	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
トラロメトリン	スカウト	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	ミヤコカブリダニ	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H19試験)幼虫:35日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
トラロメトリン	スカウト	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	その他	エルビニアカロトポーラ	菌は	エルビニアカロトポーラは乳剤との混用はできないが、3日以上散布期間であれば近接散布が可能。	天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
トラロメトリン	スカウト	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	その他	シュードモナスフルオレッセンス	菌は		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009

影響内容の記号の見方 【出典が「バイオロジカルコントロール協議会」のもの】

天敵等に対する影響は(野外・半野外試験) : 死亡率0~25%、 : 25~50%、 : 50~75%、 × : 75~100%、(室内試験) : 死亡率0~30%、 : 30~80%、 : 80~99%、 × : 99~100%

化学農薬の天敵に対する影響情報一覧表(ピレスロイド系殺虫剤)

化学農薬の天敵類に対する影響について既存の文献を調査して得られた情報を、一覧表にまとめました。

影響の内容については文献に記載されたものをそのまま収録しました。

(注意:天敵に対する影響は、気象条件など環境により変動します。ここに記載された情報についてはひとつの目安としてご利用下さい。)

農薬種類名 (成分一般名)	代表的な商品名	農薬用途	農薬系統分類	天敵グループ名称	天敵名	影響内容	備考	出典(標題)	出典(著者)	出典(年)
トラロメトリン	スカウト	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	その他	パチルスズブチリス	芽胞は	パチルスズブチリスは混用できない剤とでも、翌日以降の近接散布は可能。	天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
ピフェントリン	テルスター	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	天敵類	天敵全般	散布直後の葉面残留量が10%以下となるのに要する日数(H19試験) 28日以上(茶枝)、28日(茶葉、なし)	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
ピフェントリン	テルスター(水)	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	イサエアヒメコバチ	幼虫は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
ピフェントリン	テルスター(水)	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	オンシツツヤコバチ	蛹は、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は36日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
ピフェントリン	テルスター(水)	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	コレマンアブラバチ	マミーは×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
ピフェントリン	テルスター(水)	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	サバクツヤコバチ	蛹は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
ピフェントリン	テルスター	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	チビトビコバチ	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H19試験) 成虫:15日茶枝調査結果(サルメツツヤコバチには3週)	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
ピフェントリン	テルスター(水)	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	ハモグリコムバチ	幼虫は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
ピフェントリン	テルスター	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	フジコナカイガラムシ	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H19試験) 成虫:28日以上かき調査結果	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
ピフェントリン	テルスター(水)	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	ヨトウバチ類	蛹は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009

影響内容の記号の見方【出典が「バイオリジカルコントロール協議会」のもの】

天敵等に対する影響は(野外・半野外試験) :死亡率0~25%、 :25~50%、 :50~75%、 ×:75~100%、(室内試験) :死亡率0~30%、 :30~80%、 :80~99%、 ×:99~100%

化学農薬の天敵に対する影響情報一覧表(ピレスロイド系殺虫剤)

化学農薬の天敵類に対する影響について既存の文献を調査して得られた情報を、一覧表にまとめました。
 影響の内容については文献に記載されたものをそのまま収録しました。
 (注意:天敵に対する影響は、気象条件など環境により変動します。ここに記載された情報についてはひとつの目安としてご利用下さい。)

農薬種類名 (成分一般名)	代表的な商品名	農薬用途	農薬系統分類	天敵グループ名称	天敵名	影響内容	備考	出典(標題)	出典(著者)	出典(年)
ピフェントリン	テルスター(水)	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性天敵	クサカゲロウ類	幼虫は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
ピフェントリン	テルスター(水)	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性天敵	ショクガタマバエ	幼虫は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
ピフェントリン	テルスター	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性天敵	タイリクヒメハナカメムシ	室内試験からの影響指数(天敵半数致死濃度/使用濃度)(H19試験):0.5未満(幼虫)	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
ピフェントリン	テルスター(水)	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性天敵	タイリクヒメハナカメムシ	幼虫は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
ピフェントリン	テルスター	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性天敵	ナミテントウ	室内試験からの影響指数(天敵半数致死濃度/使用濃度)(H19試験):0.5未満(幼虫)	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
ピフェントリン	テルスター	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性天敵	ハネカクシ類	あり		農業ハンドブック2005	(社)日本植物防疫協会	2005
ピフェントリン	テルスター	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	カブリダニ類	あり		農業ハンドブック2005	(社)日本植物防疫協会	2005
ピフェントリン	テルスター(水)	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	ククメリスカブリダニ	卵は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
ピフェントリン	テルスター(煙)	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	チリカブリダニ	成虫は×、影響のなくなるまでの期間は7日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
ピフェントリン	テルスター(水)	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	チリカブリダニ	卵は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
ピフェントリン	テルスター(水)	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	デジェネランスカブリダニ	卵は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009

影響内容の記号の見方【出典が「バイオリジカルコントロール協議会」のもの】

天敵等に対する影響は(野外・半野外試験) :死亡率0~25%、 :25~50%、 :50~75%、 × :75~100%、(室内試験) :死亡率0~30%、 :30~80%、 :80~99%、 × :99~100%

化学農薬の天敵に対する影響情報一覧表(ピレスロイド系殺虫剤)

化学農薬の天敵類に対する影響について既存の文献を調査して得られた情報を、一覧表にまとめました。
 影響の内容については文献に記載されたものをそのまま収録しました。
 (注意:天敵に対する影響は、気象条件など環境により変動します。ここに記載された情報についてはひとつの目安としてご利用下さい。)

農薬種類名 (成分一般名)	代表的な商品名	農薬用途	農薬系統分類	天敵グループ名称	天敵名	影響内容	備考	出典(標題)	出典(著者)	出典(年)
ピフェントリン	テルスター	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	ミヤコカブリダニ	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H19試験)若虫:21日以上	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
ピフェントリン	テルスター(水)	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	その他	エルビニアカロトポーラ	菌は	エルビニアカロトポーラは乳剤との混用はできないが、3日以上の散布期間であれば近接散布が可能。	天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
ピフェントリン	テルスター(水)	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	その他	ネマトーダ類	幼虫は		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
ピフェントリン	テルスター(水)	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	その他	バチルスズブチリス	芽胞は	バチルスズブチリスは混用できない剤とでも、翌日以降の近接散布は可能。	天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
ピフェントリン	テルスター(水)	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	その他	ポーベリアバシアーナ	分生子は		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
フェンバレート	スミサイジン混剤	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	イサエアヒメコバチ	幼虫は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
フェンバレート	スミサイジン混剤	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	オンシツヤコバチ	蛹は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
フェンバレート	スミサイジン混剤	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	コレマンアブラバチ	マミーは×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
フェンバレート	スミサイジン混剤	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	サバクツヤコバチ	蛹は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
フェンバレート	スミサイジン混剤	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	ハモグリコマユバチ	幼虫は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009

影響内容の記号の見方【出典が「バイオリジカルコントロール協議会」のもの】

天敵等に対する影響は(野外・半野外試験) :死亡率0~25%、 :25~50%、 :50~75%、×:75~100%、(室内試験) :死亡率0~30%、 :30~80%、 :80~99%、×:99~100%

化学農薬の天敵に対する影響情報一覧表(ピレスロイド系殺虫剤)

化学農薬の天敵類に対する影響について既存の文献を調査して得られた情報を、一覧表にまとめました。
 影響の内容については文献に記載されたものをそのまま収録しました。
 (注意:天敵に対する影響は、気象条件など環境により変動します。ここに記載された情報についてはひとつの目安としてご利用下さい。)

農薬種類名 (成分一般名)	代表的な商品名	農薬用途	農薬系統分類	天敵グループ名称	天敵名	影響内容	備考	出典(標題)	出典(著者)	出典(年)
フェンバレレート	スミサイジン混剤	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	ヨトウバチ類	蛹は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
フェンバレレート	スミサイジン混剤	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性天敵	クサカゲロウ類	幼虫は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
フェンバレレート	スミサイジン混剤	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性天敵	ショクガタマバエ	幼虫は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
フェンバレレート	スミサイジン混剤	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性天敵	タイリクヒメハナカメムシ	幼虫は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
フェンバレレート	スミサイジン混剤	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	ククメリスカブリダニ	卵は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
フェンバレレート	スミサイジン混剤	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	チリカブリダニ	卵は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
フェンバレレート	スミサイジン混剤	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	デジェネランスカブリダニ	卵は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
フェンバレレート	スミサイジン混剤	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	その他	ネマトーダ類	幼虫は		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
フェンバレレート	スミサイジン混剤	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	その他	パーティシリウムレカニ	胞子は		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
フェンプロバトリン	ロディー	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	天敵類	天敵全般	散布直後の葉面残留量が10%以下となるのに要する日数(H19試験)28日(かんきつ)、7日(なす)	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009

影響内容の記号の見方 【出典が「バイオロジカルコントロール協議会」のもの】

天敵等に対する影響は(野外・半野外試験) :死亡率0~25%、 :25~50%、 :50~75%、×:75~100%、(室内試験) :死亡率0~30%、 :30~80%、 :80~99%、×:99~100%

化学農薬の天敵に対する影響情報一覧表(ピレスロイド系殺虫剤)

化学農薬の天敵類に対する影響について既存の文献を調査して得られた情報を、一覧表にまとめました。
 影響の内容については文献に記載されたものをそのまま収録しました。
 (注意:天敵に対する影響は、気象条件など環境により変動します。ここに記載された情報についてはひとつの目安としてご利用下さい。)

農薬種類名 (成分一般名)	代表的な商品名	農薬用途	農薬系統分類	天敵グループ名称	天敵名	影響内容	備考	出典(標題)	出典(著者)	出典(年)
フェンプロパトリン	ロディー	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	イサエアヒメコバチ	散布後の露地作物(野菜に限る)において、葉面残留量が室内試験の半数致死薬量以下となるまでの日数(H19試験)成虫:0	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
フェンプロパトリン	ロディー(乳)	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	イサエアヒメコバチ	幼虫は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
フェンプロパトリン	ロディー(乳)	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	オンシツヤコバチ	蛹は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
フェンプロパトリン	ロディー	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	コレマンアブラバチ	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H19試験)成虫:0日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
フェンプロパトリン	ロディー(乳)	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	コレマンアブラバチ	マミーは×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
フェンプロパトリン	ロディー(乳)	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	サバクツヤコバチ	蛹は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
フェンプロパトリン	ロディー(乳)	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	ハモグリコマユバチ	幼虫は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
フェンプロパトリン	ロディー(乳)	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	ヨトウバチ類	蛹は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
フェンプロパトリン	ロディー(乳)	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性天敵	クサカゲロウ類	幼虫は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
フェンプロパトリン	ロディー(乳)	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性天敵	ショクガタマバエ	幼虫は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009

影響内容の記号の見方【出典が「バイオリジカルコントロール協議会」のもの】

天敵等に対する影響は(野外・半野外試験) :死亡率0~25%、 :25~50%、 :50~75%、 ×:75~100%、(室内試験) :死亡率0~30%、 :30~80%、 :80~99%、 ×:99~100%

化学農薬の天敵に対する影響情報一覧表(ピレスロイド系殺虫剤)

化学農薬の天敵類に対する影響について既存の文献を調査して得られた情報を、一覧表にまとめました。

影響の内容については文献に記載されたものをそのまま収録しました。

(注意:天敵に対する影響は、気象条件など環境により変動します。ここに記載された情報についてはひとつの目安としてご利用下さい。)

農薬種類名 (成分一般名)	代表的な商品名	農薬用途	農薬系統分類	天敵グループ名称	天敵名	影響内容	備考	出典(標題)	出典(著者)	出典(年)
フェンプロパトリン	ロディー	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性天敵	タイリクヒメハナカメシ	散布後の露地作物(野菜に限る)において、葉面残留量が室内試験の半数致死薬量以下となるまでの日数(H19試験) 幼虫:14	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
フェンプロパトリン	ロディー(乳)	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性天敵	タイリクヒメハナカメシ	幼虫は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
フェンプロパトリン	ロディー	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性天敵	ナミtentウ	散布後の露地作物(野菜に限る)において、葉面残留量が室内試験の半数致死薬量以下となるまでの日数(H19試験) 幼虫:0日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
フェンプロパトリン	ロディー(乳)	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	ククメリスカブリダニ	卵は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
フェンプロパトリン	ロディー(乳)	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	チリカブリダニ	卵は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
フェンプロパトリン	ロディー(乳)	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	デジェネランスカブリダニ	卵は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
フェンプロパトリン	ロディー	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	ミヤコカブリダニ	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H19試験) 幼虫:21~28日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
フェンプロパトリン	ロディー(乳)	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	その他	エルビニアカロトポーラ	菌は×	エルビニアカロトポーラは乳剤との混用はできないが、3日以上散布期間であれば近接散布が可能。	天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
フェンプロパトリン	ロディー(乳)	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	その他	ネマトーダ類	幼虫は		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009

影響内容の記号の見方 【出典が「バイオリジカルコントロール協議会」のもの】

天敵等に対する影響は(野外・半野外試験) :死亡率0~25%、 :25~50%、 :50~75%、×:75~100%、(室内試験) :死亡率0~30%、 :30~80%、 :80~99%、×:99~100%

化学農薬の天敵に対する影響情報一覧表(ピレスロイド系殺虫剤)

化学農薬の天敵類に対する影響について既存の文献を調査して得られた情報を、一覧表にまとめました。

影響の内容については文献に記載されたものをそのまま収録しました。

(注意:天敵に対する影響は、気象条件など環境により変動します。ここに記載された情報についてはひとつの目安としてご利用下さい。)

農薬種類名 (成分一般名)	代表的な商品名	農薬用途	農薬系統分類	天敵グループ名称	天敵名	影響内容	備考	出典(標題)	出典(著者)	出典(年)
フェンプロパトリン	ロディー(乳)	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	その他	パーティシリウムレカニ	胞子は		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
フェンプロパトリン	ロディー(乳)	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	その他	バチルスズブチリス	芽胞は	バチルスズブチリスは混用できない剤とでも、翌日以降の近接散布は可能。	天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
フルシトリネート	ベイオフ	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	オンシツツヤコバチ	蛹は×、成虫は×		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
フルシトリネート	ベイオフ	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	コレマンアブラバチ	1,000ppm(500倍希釈)液で死亡率50.0%(48時間後)		農業ハンドブック2005	(社)日本植物防疫協会	2005
フルシトリネート	ベイオフ	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	コレマンアブラバチ	成虫は×		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
フルシトリネート	ベイオフ	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性天敵	クサカゲロウ類	成虫は		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
フルシトリネート	ベイオフ	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性天敵	シヨクガタマバエ	成虫は		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
フルシトリネート	ベイオフ	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性天敵	タイリクヒメハナカムムシ	1,000ppm(500倍希釈)液で死亡率100%(48時間後)		農業ハンドブック2005	(社)日本植物防疫協会	2005
フルシトリネート	ベイオフ	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	ククメリスカブリダニ	卵は×、成虫は×		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
フルシトリネート	ベイオフ	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	チリカブリダニ	1,000ppm(500倍希釈)液で補正死亡率47.8%(48時間後)		農業ハンドブック2005	(社)日本植物防疫協会	2005
フルシトリネート	ベイオフ	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	チリカブリダニ	卵は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は42日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009

影響内容の記号の見方【出典が「バイオロジカルコントロール協議会」のもの】

天敵等に対する影響は(野外・半野外試験) :死亡率0~25%、 :25~50%、 :50~75%、×:75~100%、(室内試験) :死亡率0~30%、 :30~80%、 :80~99%、×:99~100%

化学農薬の天敵に対する影響情報一覧表(ピレスロイド系殺虫剤)

化学農薬の天敵類に対する影響について既存の文献を調査して得られた情報を、一覧表にまとめました。
 影響の内容については文献に記載されたものをそのまま収録しました。
 (注意:天敵に対する影響は、気象条件など環境により変動します。ここに記載された情報についてはひとつの目安としてご利用下さい。)

農薬種類名 (成分一般名)	代表的な商品名	農薬用途	農薬系統分類	天敵グループ名称	天敵名	影響内容	備考	出典(標題)	出典(著者)	出典(年)
フルシトリネート	ベイオフ	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	デジェネラヌスカブリダニ	卵は×、成虫は×		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
フルシトリネート	ベイオフ	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	その他	エルビニアカロトポーラ	菌は	エルビニアカロトポーラは乳剤との混用はできないが、3日以上の散布期間であれば近接散布が可能。	天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
フルシトリネート	ベイオフ	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	その他	パーティシリウムレカニ	胞子は		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
フルバリネート	マブリック	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	天敵類	天敵全般	あり		農薬ハンドブック2005	(社)日本植物防疫協会	2005
フルバリネート	マブリック	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	天敵類	天敵全般	散布直後の葉面残留量が10%以下となるのに要する日数(H19試験)7日(キャベツ)	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
フルバリネート	マブリック(水)	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	イサエアヒメコバチ	成虫は×		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
フルバリネート	マブリック(水)	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	オンシツヤコバチ	蛹は、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は7日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
フルバリネート	マブリック	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	コレマンアブラバチ	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H19試験)成虫:3日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
フルバリネート	マブリック(水)	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	コレマンアブラバチ	成虫は		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
フルバリネート	マブリック(水)	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	サバクツヤコバチ	蛹は×、成虫は×		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009

影響内容の記号の見方【出典が「バイオロジカルコントロール協議会」のもの】

天敵等に対する影響は(野外・半野外試験) :死亡率0~25%、 :25~50%、 :50~75%、×:75~100%、(室内試験) :死亡率0~30%、 :30~80%、 :80~99%、×:99~100%

化学農薬の天敵に対する影響情報一覧表(ピレスロイド系殺虫剤)

化学農薬の天敵類に対する影響について既存の文献を調査して得られた情報を、一覧表にまとめました。

影響の内容については文献に記載されたものをそのまま収録しました。

(注意: 天敵に対する影響は、気象条件など環境により変動します。ここに記載された情報についてはひとつの目安としてご利用下さい。)

農薬種類名 (成分一般名)	代表的な商品名	農薬用途	農薬系統分類	天敵グループ名称	天敵名	影響内容	備考	出典(標題)	出典(著者)	出典(年)
フルバリネート	マブリック(水)	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	ハモグリコムユバチ	成虫は×		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
フルバリネート	マブリック(水)	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	ヨトウバチ類	蛹は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は42日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
フルバリネート	マブリック(水)	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性天敵	クサカゲロウ類	幼虫は×、成虫は×		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
フルバリネート	マブリック(水)	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性天敵	タイリクヒメハナカメムシ	幼虫は×、成虫は×		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
フルバリネート	マブリック	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性天敵	ナミテントウ	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H19試験) 幼虫: 28日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
フルバリネート	マブリック(水)	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	ククメリスカブリダニ	卵は×、成虫は×		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
フルバリネート	マブリック(水)	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	チリカブリダニ	卵は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は42日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
フルバリネート	マブリック(水)	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	デジェネランスカブリダニ	卵は×、成虫は×		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
フルバリネート	マブリック(水)	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	ミヤコカブリダニ	卵は×、成虫は×		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
フルバリネート	マブリック(水)	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	その他	エルビニアカロトポーラ	菌は	エルビニアカロトポーラは乳剤との混用はできないが、3日以上の散布期間であれば近接散布が可能。	天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009

影響内容の記号の見方 【出典が「バイオロジカルコントロール協議会」のもの】

天敵等に対する影響は(野外・半野外試験) : 死亡率0~25%、 : 25~50%、 : 50~75%、 × : 75~100%、(室内試験) : 死亡率0~30%、 : 30~80%、 : 80~99%、 × : 99~100%

化学農薬の天敵に対する影響情報一覧表(ピレスロイド系殺虫剤)

化学農薬の天敵類に対する影響について既存の文献を調査して得られた情報を、一覧表にまとめました。
 影響の内容については文献に記載されたものをそのまま収録しました。
 (注意:天敵に対する影響は、気象条件など環境により変動します。ここに記載された情報についてはひとつの目安としてご利用下さい。)

農薬種類名 (成分一般名)	代表的な商品名	農薬用途	農薬系統分類	天敵グループ名称	天敵名	影響内容	備考	出典(標題)	出典(著者)	出典(年)
フルバリネート	マブリック(水)	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	その他	シュードモナスフルオ レッセンス	菌は		天敵類に対する農薬の影響 の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコ ントロール協議会	2009
フルバリネート	マブリック(水)	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	その他	ネマトーダ類	幼虫は		天敵類に対する農薬の影響 の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコ ントロール協議会	2009
フルバリネート	マブリック(水)	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	その他	パチルスズブチリス	芽胞は	パチルスズブチリス は混用できない剤と でも、翌日以降の近 接散布は可能。	天敵類に対する農薬の影響 の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコ ントロール協議会	2009
フルバリネート	マブリック(水)	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	その他	ポーベリアバシアー ナ	分生子は		天敵類に対する農薬の影響 の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコ ントロール協議会	2009
ペルメトリン	オルトラン、ジェイ エース(粒剤)	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	天敵類	天敵全般	散布直後の葉面残留量が10% 以下となるのに要する日数(H 19試験)35日以上(かき)、2 8日(もも)、28日(キャベツ)	「野外における農薬 の天敵に対する影響 (露地作物)の目安」 より	平成21年度IPM技術評価基 準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策 定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
ペルメトリン	アディオ	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	イサエアヒメコバチ	成虫は×、影響のなくなるま での期間は84日		天敵類に対する農薬の影響 の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコ ントロール協議会	2009
ペルメトリン	アディオ	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	オンシツヤコバチ	蛹は×、成虫は×、影響のな くなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響 の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコ ントロール協議会	2009
ペルメトリン	アディオ	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	コレマンアブラバチ	マミーは×、成虫は×、影響 のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響 の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコ ントロール協議会	2009
ペルメトリン	オルトラン、ジェイ エース(粒剤)	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	コレマンアブラバチ	室内試験からの影響指数(天 敵半数致死濃度/使用濃度) (H19試験):0.9をこえる(成 虫)	「野外における農薬 の天敵に対する影響 (露地作物)の目安」 より	平成21年度IPM技術評価基 準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策 定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
ペルメトリン	アディオ	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	サバクツヤコバチ	蛹は×、成虫は×、影響のな くなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響 の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコ ントロール協議会	2009

影響内容の記号の見方【出典が「バイオリジカルコントロール協議会」のもの】

天敵等に対する影響は(野外・半野外試験) :死亡率0~25%、 :25~50%、 :50~75%、×:75~100%、(室内試験) :死亡率0~30%、 :30~80%、 :80~99%、×:99~100%

化学農薬の天敵に対する影響情報一覧表(ピレスロイド系殺虫剤)

化学農薬の天敵類に対する影響について既存の文献を調査して得られた情報を、一覧表にまとめました。

影響の内容については文献に記載されたものをそのまま収録しました。

(注意:天敵に対する影響は、気象条件など環境により変動します。ここに記載された情報についてはひとつの目安としてご利用下さい。)

農薬種類名 (成分一般名)	代表的な商品名	農薬用途	農薬系統分類	天敵グループ名称	天敵名	影響内容	備考	出典(標題)	出典(著者)	出典(年)
ペルメトリン	アディオ	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	ハモグリコムユバチ	成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
ペルメトリン	オルトラン、ジェイエース(粒剤)	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	フジコナカイガラムシ	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H19試験)成虫:21日以上(かき調査結果)	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
ペルメトリン	アディオ	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	寄生性天敵	ヨトウバチ類	蛹は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
ペルメトリン	アディオ	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性天敵	クサカゲロウ類	幼虫は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
ペルメトリン	アディオ	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性天敵	シヨクガタマバエ	幼虫は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
ペルメトリン	アディオ	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性天敵	タイリクヒメハナカメムシ	幼虫は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
ペルメトリン	オルトラン、ジェイエース(粒剤)	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性天敵	タイリクヒメハナカメムシ	散布後の露地作物(野菜に限る)において、葉面残留量が室内試験の半数致死薬量以下となるまでの日数(H19試験)幼虫:49	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
ペルメトリン	オルトラン、ジェイエース(粒剤)	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性天敵	ナミテントウ	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H19試験)幼虫:28日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
ペルメトリン	アディオ	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	ククメリスカブリダニ	卵は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
ペルメトリン	アディオ	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	チリカブリダニ	卵は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009

影響内容の記号の見方【出典が「バイオロジカルコントロール協議会」のもの】

天敵等に対する影響は(野外・半野外試験) :死亡率0~25%、 :25~50%、 :50~75%、×:75~100%、(室内試験) :死亡率0~30%、 :30~80%、 :80~99%、×:99~100%

化学農薬の天敵に対する影響情報一覧表(ピレスロイド系殺虫剤)

化学農薬の天敵類に対する影響について既存の文献を調査して得られた情報を、一覧表にまとめました。

影響の内容については文献に記載されたものをそのまま収録しました。

(注意:天敵に対する影響は、気象条件など環境により変動します。ここに記載された情報についてはひとつの目安としてご利用下さい。)

農薬種類名 (成分一般名)	代表的な商品名	農薬用途	農薬系統分類	天敵グループ名称	天敵名	影響内容	備考	出典(標題)	出典(著者)	出典(年)
ペルメトリン	アディオン	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	デジェネラヌスカブリダニ	卵は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
ペルメトリン	アディオン	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	ミヤコカブリダニ	成虫は		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
ペルメトリン	オルトラン、ジェイエース(粒剤)	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	ミヤコカブリダニ	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H19試験)若虫:28日以上(なし調査結果)	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
ペルメトリン	アディオン	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	その他	エルビニアカロトポエラ	菌は水和剤は、乳剤は×	エルビニアカロトポエラは乳剤との混用はできないが、3日以上の散布期間であれば近接散布が可能。	天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
ペルメトリン	アディオン	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	その他	ネマトーダ類	幼虫は		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
ペルメトリン	アディオン	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	その他	パーティシウムレカニ	孢子は		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
ペルメトリン	アディオン	殺虫剤	ピレスロイド系殺虫剤	その他	バチルスズブチリス	芽胞は	バチルスズブチリスは混用できない剤とでも、翌日以降の近接散布は可能。	天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009

影響内容の記号の見方 【出典が「バイオリジカルコントロール協議会」のもの】

天敵等に対する影響は(野外・半野外試験) :死亡率0~25%、 :25~50%、 :50~75%、×:75~100%、(室内試験) :死亡率0~30%、 :30~80%、 :80~99%、×:99~100%